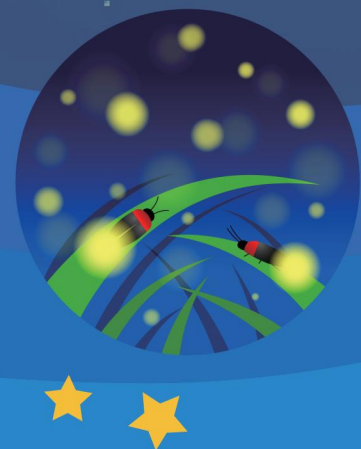
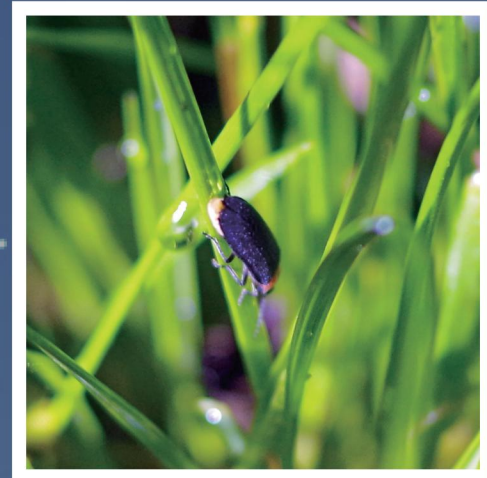


いぶきやまの ★ ヒメボタルを見よう！ 2025★



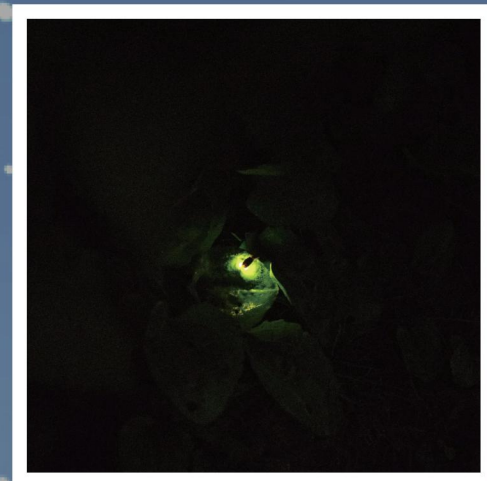
ヒメボタルって？

ヒメボタルとは、ゲンジボタルやヘイケボタルのような水辺にいるホタルとは違い、ヒメボタルは陸生のホタルで、暗い自然林で暮らしています。伊吹山には大昔から山頂周辺にいるといわれています。ヒメボタルは成虫になるまで2年を要し、幼虫はカタツムリを食べて成長します。成虫の大きさはオスで8mm、メスで5mmほどと小さく、ゲンジボタルと比べると半分以下の大きさです。成虫の寿命は短く、メスは3日、オスは7日ほどといわれています。



ヒメボタルが光る時期は？

ホタルは夕方ごろから光っているイメージですが、伊吹山のヒメボタルの発光する時間帯のピークは、**22時～翌2時頃**にかけてです。日没後暗くなったらポツポツと光だし、夜明け頃まで光り続けますが、一番活発に光る時間帯は真夜中なのです。ホタルというとゲンジボタルのように「フワ～」っと光る印象ですが、ヒメボタルは「チカッチカッ」とフラッシュ点滅のように光るのが特徴です。この光がとても明るく、少し遠くからでも光っているのがよくわかります。



ヒメボタルが光る条件は？

伊吹山のヒメボタルは発光するのにいくつか条件があります。

① 暗い日

暗ければ暗いほど元気になるようです。月明かりの影響も大きいので、新月あたりが最高です。

② じめじめと蒸し暑い日

気温と湿度が高い日ほど元気です。寒いのは苦手です。20℃くらいあると快適のようです。

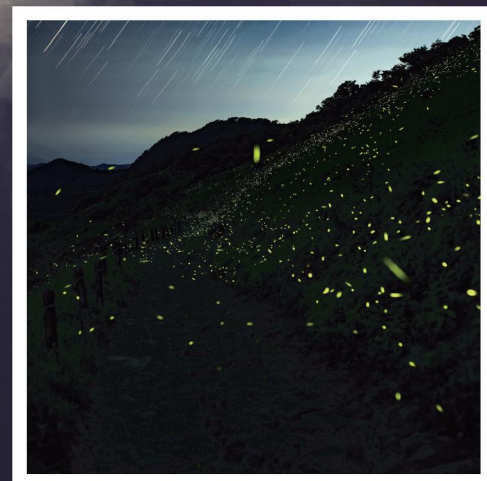
③ 風がない日

風が強いと飛ぶことができません！ちなみに飛べるのはオスだけ。

メスは羽が退化しているので飛ぶことができません。

④ 雨が降っていない日

雨が降ると飛べなくなります。雨の夜は葉っぱの裏で過ごしています。

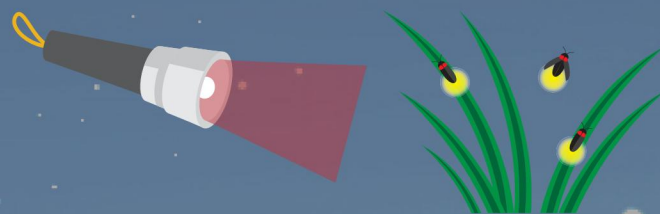


ヒメボタルはどこにいる？

ヒメボタルは山頂一帯に点在していますが、近年は西登山道の山頂駐車場寄りの場所に多く光っている印象です。山頂駐車場内にもいるので踏まないように気をつけましょう。



ヒメボタルからのお願い



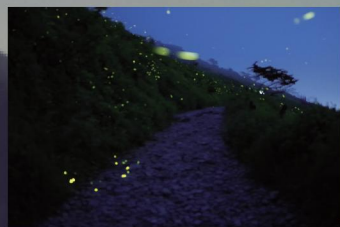
ヒメボタルを鑑賞する際にもっとも大切なことは、「**ライトの光を直接当てないこと**」です。ヒメボタルはライトなどの明るい光源を当てると発光をやめてしまいます。ヒメボタルは交尾の過程で発光します。発光を妨げることはヒメボタルにとって死活問題です。生きものの命の営みを守るため、伊吹山ドライブウェイでは夜間特別営業日の夜に西登山道と中央登山道の出入り口（いずれも山頂駐車場内）に赤色のセロファンを用意しています。これをお手持ちのライトにつけることでライトの色を赤色に変えることができます。赤色の光はヒメボタルにとっては優しい色。ヒメボタル保護のため、ご理解とご協力をお願いします。

※赤セロファンを設置するのは7月の4日（金）、5日（土）、11日（金）、12日（土）です。

※雨が降っている日は山頂駐車場内の売店「スカイテラス伊吹山」の軒先に設置します。

※立ち止まって鑑賞する際はライトを消灯してください。

※三脚をたてて撮影をされる方は登山道を塞がないようにご注意ください。



Ibukiyama Driveway 夏季夜間特別営業



ヒメボタルを気軽に楽しむために伊吹山ドライブウェイは7月（と8月）の金、土、祝前日は夜間営業をおこなっています。車中泊もできるので、ゆっくりとヒメボタルや星空をお楽しみください。夜間特別営業期間中にヒメボタルが見られるチャンスは、7月4日（金）、5日（土）、11日（金）、12日（土）です。ヒメボタルが発光している時期は例年7月の中旬頃までです。7月の第3週の週末でも見られますが、数はかなり少なくなっている可能性が高いです。夜間特別営業の詳細は、伊吹山ドライブウェイHPをごらんください。

夏季夜間特別営業のご案内

